

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
かつてわが国のプロスポーツは、現在のように世界的に注目を集めるまで育っていませんでした。しかし、近年日本のプロ野球選手がアメリカのメジャーリーグに移籍して活躍し、さらにJリーグなどでプレーした日本人選手がヨーロッパのプロサッカーリーグで活躍するなど、日本のプロスポーツも世界的に注目されるようになってきました。そこで、本演習では「スポーツビジネスを考える」を基本テーマとして、特にプロ野球・プロサッカーにおけるスポーツビジネスの現状と問題点を明らかにした上で、わが国における今後のプロスポーツビジネスのあり方について考察します。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークを積極的に取り入れ、ディスカッションをします。最終的には、各自が作成したレポートについて発表してもらいます。 実施方法の詳細については、初回授業で案内します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに本演習の目的と内容、授業の進め方等について説明する。	□
第2回	プロスポーツビジネスを考える(1)	プロ野球ビジネスに関する文献・資料・データを収集する。	□
第3回	プロスポーツビジネスを考える(2)	プロ野球ビジネスに関する文献・資料・データを収集する。	□
第4回	プロスポーツビジネスを考える(3)	収集した文献・資料・データを分析し、考察する。	□
第5回	プロスポーツビジネスを考える(4)	収集した文献・資料・データを分析し、考察する。	□
第6回	ディスカッション	分析結果について、全メンバーで討論する。	□
第7回	プロスポーツビジネスを考える(5)	プロサッカービジネスに関する文献・資料・データを収集する。	□
第8回	プロスポーツビジネスを考える(6)	プロサッカービジネスに関する文献・資料・データを収集する。	□
第9回	プロスポーツビジネスを考える(7)	収集した文献・資料・データを分析し、考察する。	□
第10回	プロスポーツビジネスを考える(8)	収集した文献・資料・データを分析し、考察する。	□
第11回	ディスカッション	分析結果について、全メンバーで討論する。	□
第12回	レポート作成(1)	各自が選択したプロスポーツビジネスについて、レポートを作成する。	□
第13回	レポート作成(2)	各自が選択したプロスポーツビジネスについて、レポートを作成する。	□
第14回	レポート報告 (1)	各自が作成したレポートの報告をし、全メンバーで討論する。	□
第15回	レポート報告 (2)	各自が作成したレポートの報告をし、全メンバーで討論する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習（予習）として、文献・資料・データ収集などの調べ学習をする（毎回2時間程度）。 また事後学習（復習）として、前回の授業の振り返りをする（毎回2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出された課題・レポート・レポート報告については、教員およびゼミ生相互で講評を行うなど、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	経営を取り巻く環境変化に関心を持ち、その変化がビジネスや社会全体に与える影響を幅広く思考し、多面的な判断の上、中長期的な課題を考えることができる。とりわけスポーツビジネスの現状と課題について考察し、今後のスポーツビジネスのあり方について、他者に自分の考えを説明することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 提出された課題・レポートを【授業内試験】の成績として評価（70点満点）し、授業参加・貢献度（グループワーク・ディスカッション・レポート報告など）を【その他】の成績として評価（30点満点）します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	石川幸生・杉谷正次編著『現代スポーツビジネス』三恵社	
2	杉谷正次・石川幸生編著『現代スポーツマネジメント』三恵社	
3		
4		
5		